

松原第三中学校区の3校が インターナショナル・セーフスクール (ISS) 国際認証取得

中学校区の全小中学校での同時認証は全国初！

インターナショナル・セーフスクール (ISS) とは

インターナショナル・セーフスクールとは、体および心のけがの原因となる事故、いじめ、暴力を予防することによって、安全で健やかな学校づくりを進める活動であり、WHOによる国際認証の一つです。

松原第三中学校区の中央小学校、布忍小学校、松原第三中学校は、平成27年5月にインターナショナル・セーフスクールの認証に向けた着手宣言をしました。それから約2年半の間、安心・安全な学校づくりに向け、児童生徒が主体的に関わり、学校・保護者・地域・行政が協働で取り組みを進めてきました。平成29年1月には事前指導を受け、11月にセーフスクール認証審査員を海外から迎え、現地審査を受けました。

児童生徒の主体的な取り組みが高く評価されました

現地審査では、各校の取り組みだけでなく、中学校区としてのつながりを大事にしながら、児童生徒が主体的に学校づくりに関わる姿勢について高い評価をいただき、審査の結果、インターナショナル・セーフスクールの認証を得ることができました。なお、中学校区の全小中学校での同時認証は全国で初となります。

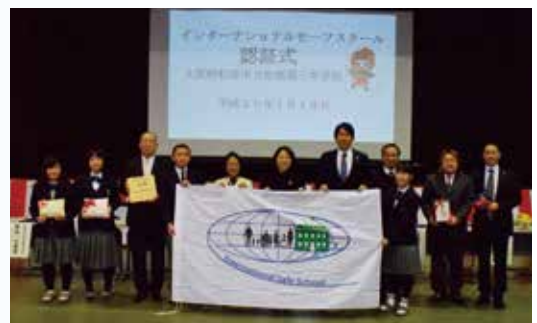
また、1月15日には松原第三中学校区の各校でインターナショナル・セーフスクール認証式を行いました。認証式には、韓国からセーフスクール認証審査員のパク・ナムス氏をお迎えし、認証取得を記念した盾・ISSの認証旗とともに、児童生徒や教職員に向けてお祝いの言葉をいただきました。



▲中央小学校



▲布忍小学校



▲松原第三中学校



セーフスクール認証審査員 パク・ナムス氏

「インターナショナル・セーフスクール (ISS) の国際的なネットワークのメンバーになったことの自覚を持ち、また小中学校で積み上げてきたことを共有し、継続した取り組みをさらに進めてほしい。」

さらに、認証はゴールではない。今日というおめでたい日を節目として、これからも、学校・保護者・地域・行政がさらに協働して進めていく第一歩にしてほしい」